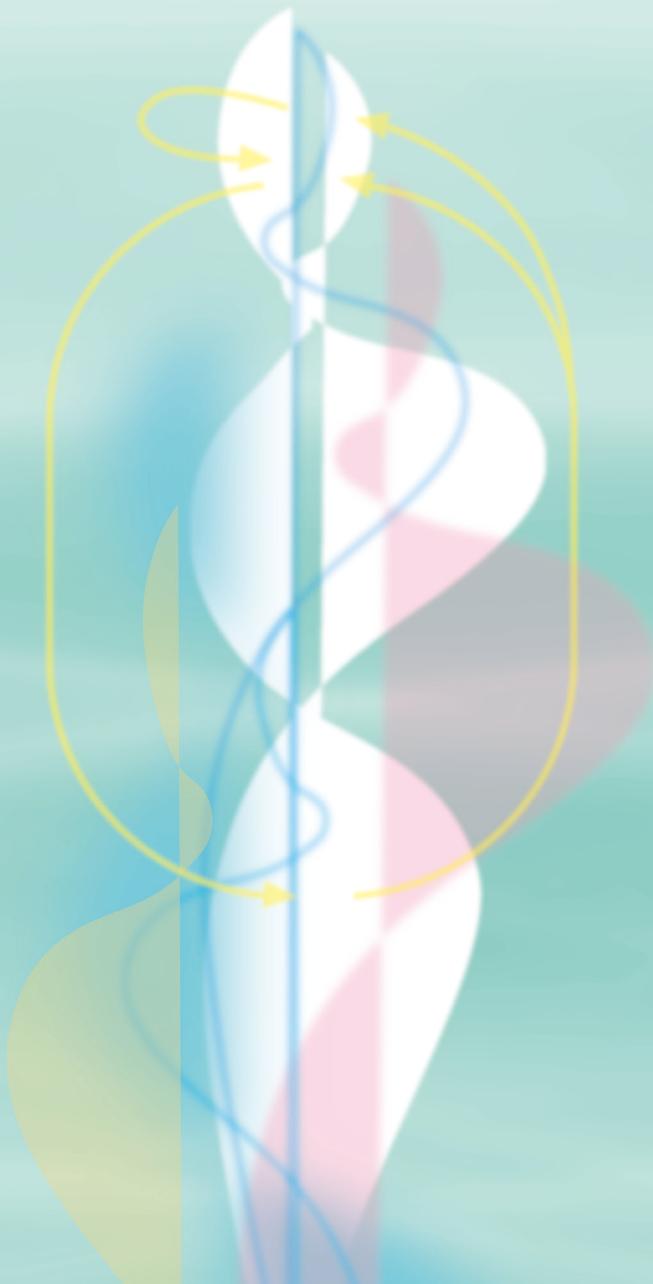


第35回

# 産婦人科漢方研究会学術集会 プログラム



日時

平成27年9月13日(日)  
9:00～15:45

場所

ベルサール飯田橋駅前  
東京都千代田区飯田橋 3-8-5  
※連絡先は裏表紙をご覧ください。  
A会場：1F ホール  
B会場：2F ROOM 1

会長

久保田 俊郎  
東京医科歯科大学大学院  
生殖機能協関学分野

共催：産婦人科漢方研究会  株式会社 ツムラ

◎産婦人科漢方研究会ホームページ

<http://www.k-kenkyukai.com/sanfujinka/>

平成27年度 産婦人科漢方研究会役員一覧

代表世話人	齋藤	滋	(富山大学教授)
常任世話人	苛原	稔	(徳島大学教授)
(機関紙担当)			
常任世話人	杉山	徹	(岩手医科大学教授)
	千石	一雄	(旭川医科大学教授)
	山本	樹生	(日本大学教授)
世話人	青木	大輔	(慶應義塾大学教授)
	井坂	大恵	一(東京医科大学教授)
	岩坂	剛	(高邦会高木病院病院長)
	加藤	聖子	(九州大学教授)
	吉川	史隆	(名古屋大学教授)
	木村	正	(大阪大学教授)
	久保田	俊郎	(東京医科歯科大学教授)
	小西	郁生	(京都大学教授)
	武田	卓	(近畿大学東洋医学研究所所長)
	高松	潔	(東京歯科大学市川総合病院教授)
	堂地	勉	(鹿児島大学教授)
	平松	祐司	(岡山大学教授)
	深澤	一雄	(獨協医科大学教授)
	水沼	英樹	(弘前大学教授)
	村上	節	(滋賀医科大学教授)
	八重樫	伸生	(東北大学教授)
顧問	稲葉	憲之	(獨協医科大学学長)
	太田	博明	(国際医療福祉大学教授 山王メディカルセンター・女性医療センター長)
	岡井	崇	(愛育病院院長)
	嘉村	敏治	(柳川病院産婦人科顧問)
	佐藤	和雄	(前日本大学教授)
	武谷	雄二	(独立行政法人労働者健康福祉機構理事長)
	田中	俊誠	(秋田大学名誉教授)
	星合	昊	(大阪府済生会富田林病院院長)
	本庄	英雄	(京都府立医科大学名誉教授)
	矢内原	巧	(昭和大学名誉教授)
	吉村	恭典	(吉村やすのり生命の環境研究所所長)

(五十音順敬称略)

第35回産婦人科漢方研究会学術集会  
タイムスケジュール

**A会場(1Fホール)**

9:00	開会の辞
9:05	一般演題セッション 50分 《6演題》 (6分口演・2分質疑)
9:55	優秀演題賞ノミネート講演 50分 《6演題》 (発表:6分口演・2分質疑)
10:45	シンポジウム 80分 《4演題》 「女性のライフステージにおける漢方の役割」 (発表:20分×4演題)
12:05	休憩(弁当配布) 10分
12:15	ランチョンセミナー 40分
12:55	休憩(弁当片付け) 10分
13:05	総会
13:15	基調講演 30分
13:45	特別講演 40分
14:25	休憩
14:40	一般演題セッション 50分 《6演題》 (発表:6分口演・2分質疑)
15:30	優秀演題賞表彰式
15:40	閉会の辞
15:45	

第35回産婦人科漢方研究会学術集会  
タイムスケジュール

**B会場(2F ROOM 1)**

9:00	
9:05	一般演題セッション 50分 《6演題》 (6分口演・2分質疑)
9:55	
14:40	一般演題セッション 50分 《6演題》 (発表:6分口演・2分質疑)
15:30	

当日、第35回産婦人科漢方研究会学術集会参加費(1000円)と産婦人科漢方研究会年会費(1000円)の2000円を頂きます。

本学術集会に参加された方は日本産科婦人科学会認定医10単位シール及び日本産婦人科医会研修参加証が発行されます。

# 第35回産婦人科漢方研究会学術集会プログラム

開会の辞 東京医科歯科大学 教授 久保田 俊郎 9:00 ~ 9:05

A 会場 一般演題セッション 9:05 ~ 9:55

座長：東京歯科大学市川総合病院 教授 高松 潔

A-1 .妊婦の痔に対する乙字湯の使用経験

長崎県対馬病院産婦人科  
山内 祐樹

A-2 .漢方薬短期投与による過多月経、過長月経改善効果についての検討

医療法人社団ともこレディースクリニック  
佐藤 智子

A-3 .漢方を中心とした治療が奏功した凍結骨盤の症例

朋佑会札幌産科婦人科  
佐野 敬夫

A-4 .漢方薬が有効であった骨盤内うつ血症候群の一例

中国中央病院  
徳毛 敬三

A-5 .原因疾患が明らかでない陰部痛 ( Vulvodynia ) に対する漢方薬治療

金沢医科大学産科婦人科学・産科婦人科<sup>1)</sup>、総合内科<sup>2)</sup>  
笹川 寿之<sup>1)</sup>、柴田 健雄<sup>1)</sup>、高木 弘明<sup>1)</sup>、山川 淳一<sup>2)</sup>

A-6 .リスク低減卵管卵巣摘出術後の卵巣欠落症状に対する漢方療法に関する検討

慶應義塾大学医学部産婦人科<sup>1)</sup>、慶應義塾大学医学部漢方医学センター<sup>2)</sup>  
東京歯科大学市川総合病院産婦人科<sup>3)</sup>、埼玉メディカルセンター産婦人科<sup>4)</sup>  
済生会中央病院婦人科<sup>5)</sup>

横田 めぐみ<sup>1)</sup>、平沢 晃<sup>1)</sup>、牧田 和也<sup>1)</sup>、堀場 裕子<sup>1)2)</sup>

岩田 卓<sup>1)</sup>、小川 真里子<sup>1)3)</sup>、柳本 茂久<sup>1)4)</sup>、弟子丸 亮太<sup>1)5)</sup>

高松 潔<sup>3)</sup>、青木 大輔<sup>1)</sup>

B 会場 一般演題セッション

9:05 ~ 9:55

座長：近畿大学東洋医学研究所 所長 武田 卓

B-7 .漢方薬にて臍帯動脈血流の改善、児体重の増加をみた双角子宮妊娠の1例

香川県立保健医療大学  
塩田 敦子

B-8 .不妊治療女性 7 例の便秘における、潤腸湯の有効性

越田クリニック<sup>1)</sup>、かげやま医院<sup>2)</sup>

大阪市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学 ( 女性生涯医学 )<sup>3)</sup>

大阪市立大学大学院看護学研究科<sup>4)</sup>

中井 恭子<sup>1)3)</sup>、高橋 悠里子<sup>1)</sup>、網 和美<sup>1)</sup>、山田 成利<sup>1)</sup>、越田 光伸<sup>1)</sup>

蔭山 充<sup>2)3)</sup>、浮田 勝男<sup>3)</sup>、今中 基晴<sup>4)</sup>、古山 将康<sup>3)</sup>

B-9 . 月経困難症に対し、当帰芍薬散と桂枝茯苓丸が有効だった 2 症例

大崎市民病院産婦人科<sup>1)</sup>、東北大学医学部産科婦人科<sup>2)</sup>

松本 大樹<sup>1)</sup>、杉山 隆<sup>2)</sup>、八重樫 伸生<sup>2)</sup>

B-10 . 冷えとめまいに対して漢方薬が奏功した 3 症例

越田クリニック<sup>1)</sup>、かげやま医院<sup>2)</sup>

高橋 悠里子<sup>1)</sup>、蔭山 充<sup>2)</sup>、網 和美<sup>1)</sup>

中井 恭子<sup>1)</sup>、山田 成利<sup>1)</sup>、越田 光伸<sup>1)</sup>

B-11 . 妊娠中再発を繰り返す尖圭コンジローマに対し、漢方薬により症状が改善した 1 症例

医療法人明珠会白石産科婦人科病院<sup>1)</sup>、札幌医科大学麻酔科<sup>2)</sup>

武田 智幸<sup>1)</sup>、谷垣 衣理<sup>1)</sup>、明石 英史<sup>1)</sup>、渡辺 廣昭<sup>2)</sup>

B-12 . 繰り返す性器ヘルペスに対し漢方薬内服で軽快した 2 例

長崎県対馬病院産婦人科

山内 祐樹

A 会場 優秀演題賞ノミネート講演

9 : 55 ~ 10 : 45

座長 : 日本大学 教授 山本 樹生

旭川医科大学 教授 千石 一雄

N-1 . 当院不妊治療外来における漢方薬の選択と妊娠率の検討

岩手医科大学産婦人科

高田 杏奈、三浦 史晴、永沢 崇幸、古武 陽子

竹下 真妃、田中 詩乃、杉山 徹

N-2 . ラット下垂体腫瘍細胞 MtT/Se を用いた漢方製剤のエストロゲン様作用の検討

関西医科大学公衆衛生学講座

王 澤蘊、神田 靖士、下埜 敬紀、岡崎 はるか

ラーマニーガオ・ペーオペット、西山 利正

N-3 . 六君子湯は、妊娠悪阻における悪心嘔吐や食欲不振などの上腹部症状を改善できる

静岡厚生病院産婦人科

中山 毅、宮野 奈緒美、石橋 武蔵、田中 一範

N-4 . 当科における卵巣癌症例の予後解析 十全大補湯内服状況を中心に

東京女子医科大学病院 産婦人科

池田 真理子、阿部 結貴、高橋 伸子、石谷 健、松井 英雄

N-5 . 婦人科疾病における『阿膠・艾葉』を含有した漢方処方での過多月経、不正出血に対する有効性の検討

金沢医科大学 医学部 産科婦人科学<sup>1)</sup>、看護学部 母性看護学・助産学<sup>2)</sup>

高木 弘明<sup>1)</sup>、坂本 人一<sup>1)</sup>、柴田 健雄<sup>1)</sup>

笹川 寿之<sup>1)</sup>、田村 香奈<sup>2)</sup>、柳原 真知子<sup>2)</sup>

N-6 . モデルラットにおける TJ-25 摂取後の paeoniflorin 濃度と内皮機能

東京医科歯科大学 生殖機能協同学

尾林 聡、濱田 里美、山口 歩実

飯塚 真、大藏 慶憲、久保田 俊郎

A会場 シンポジウム「女性のライフステージにおける漢方の役割」 10:45 ~ 12:05

座長：岩手医科大学 教授 杉山 徹  
徳島大学 教授 苛原 稔

S-1 .先天性横隔膜ヘルニアにおける漢方薬を用いた治療の可能性

名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学講座  
平光 志麻

S-2 .月経関連症候群と漢方療法

東京歯科大学市川総合病院産婦人科  
小川 真里子

S-3 .更年期障害に対する漢方薬の効果

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科女性健康医学講座  
寺内 公一

S-4 .婦人科癌化学療法副作用対策における漢方治療の役割

富山大学大学院医学薬学研究部産科婦人科学教室  
島 友子

~ 休 憩 ~

( 12 : 05 ~ 12 : 15 )

A会場 ランチョンセミナー

12:15 ~ 12:55

座長：弘前大学 教授 水沼 英樹

「女性のアンチエイジングと漢方」

大阪市立大学大学院医学研究科女性生涯医学 教授 古山 将康

~ 休 憩 ~

( 12 : 55 ~ 13 : 05 )

総 会

13:05 ~ 13:15

司会：富山大学 教授 齋藤 滋

A会場 基調講演

13:15 ~ 13:45

座長：東京医科歯科大学 教授 久保田 俊郎

「女性の皮膚疾患と漢方」

こばやし皮膚科クリニック 院長 小林 裕美

A会場 特別講演

13:45 ~ 14:25

座長：富山大学 教授 齋藤 滋

「女性のコモンディジーズになった摂食障害における漢方の有用性」

政策研究大学院大学保健管理センター 教授 鈴木（堀田） 眞理

~ 休 憩 ~

( 14 : 25 ~ 14 : 40 )

座長：滋賀医科大学 教授 村上 節

A-13 . LEP・DNG で残存する慢性下腹部痛・子宮内膜症に子宮静脈叢の怒張を根拠に桂枝茯苓丸を併用し有効であった1症例

京都大学大学院医学研究科器官外科学婦人科学産科学<sup>1)</sup>、かげやま医院<sup>2)</sup>

京都桂病院<sup>3)</sup>、洛和会音羽病院産婦人科・総合女性医学健康センター<sup>4)</sup>

清川 晶<sup>1)4)</sup>、蔭山 充<sup>1)2)</sup>、西村 史朋<sup>3)</sup>

江川 美保<sup>1)</sup>、佐川 典正<sup>4)</sup>、小西 郁生<sup>1)</sup>

A-14 . 漢方方剤の服用開始時期を舌診の利用により患者の自己診断で判断する試み

地方独立行政法人長野県立病院機構 長野県立木曾病院 産婦人科

吉岡 郁郎、窪田 文香、角田 英範

A-15 . 末梢静脈留置カテーテルを頻回に差し替えなければならない患者に対する漢方薬の効果

岐阜県総合医療センター 産婦人科<sup>1)</sup>、同 漢方外来<sup>2)</sup>

岐阜大学大学院医学系研究科・腫瘍制御学・産科婦人科学<sup>3)</sup>

佐藤 泰昌<sup>1)2)</sup>、小池 大我<sup>1)</sup>、安見 駿佑<sup>1)</sup>、大塚 かおり<sup>1)</sup>

鈴木 真理子<sup>1)</sup>、田上 慶子<sup>1)</sup>、桑原 和男<sup>1)</sup>、横山 康宏<sup>1)</sup>

山田 新尚<sup>1)</sup>、森重 健一郎<sup>3)</sup>

A-16 . 予定日超過分娩に至った冷え合併妊婦の分娩予後に対する漢方薬の効果

つくばセントラル病院<sup>1)</sup>、協和中央病院東洋医学センター<sup>2)</sup>

野木病院<sup>3)</sup>、筑波大学附属病院<sup>4)</sup>

岡村 麻子<sup>1)</sup>、長田 佳世<sup>1)</sup>、田中 奈美<sup>1)</sup>、柴田 衣里<sup>1)</sup>

竹島 絹子<sup>1)</sup>、玉野 雅裕<sup>2)</sup>、加藤 士郎<sup>2)3)4)</sup>

A-17 . 更年期女性の高血圧コントロールに漢方薬が奏功した3症例

野木病院<sup>1)</sup>、協和中央病院東洋医学センター<sup>2)</sup>、筑波大学附属病院<sup>3)</sup>

つくばセントラル病院<sup>4)</sup>、筑波大学総合診療科<sup>5)</sup>、霞ヶ浦医療センター<sup>6)</sup>

加藤 士郎<sup>1)2)3)</sup>、玉野 雅裕<sup>2)</sup>、岡村 麻子<sup>4)</sup>

小曾根 早知子<sup>5)</sup>、星野 朝文<sup>6)</sup>、麦原 匡史<sup>1)</sup>

A-18 . 医原性更年期障害への漢方戦略

文京学院大学・川崎幸クリニック婦人科<sup>1)</sup>、順天堂大学産科婦人科<sup>2)</sup>

浅田病院精神科<sup>3)</sup>、川崎幸クリニック心理相談室<sup>4)</sup>、温知堂室賀医院<sup>5)</sup>

坂本 忍<sup>1)</sup>、岡部 瞳<sup>2)</sup>、大澤 多美子<sup>3)</sup>

稲富 正治<sup>4)</sup>、室賀 昭三<sup>5)</sup>

B 会場 一般演題セッション

14:40 ~ 15:30

座長：東京医科大学 教授 井坂 恵一

B-19 . 越婢加朮湯の処方 で 下肢浮腫の軽減を来した症例

京都桂病院<sup>1)</sup>、京都大学大学院医学研究科器官外科学婦人科学産科学<sup>2)</sup>  
志馬クリニック四条烏丸<sup>3)</sup>、かげやま医院<sup>4)</sup>

西村 史朋<sup>1)</sup>、清川 晶<sup>2)</sup>、江川 美保<sup>2)</sup>  
志馬 千佳<sup>2)3)</sup>、蔭山 充<sup>2)4)</sup>、小西 郁生<sup>2)</sup>

B-20 . 漢方薬で、冷えと浮腫を伴う関節痛・腰痛等が奏功した女性 3 症例

志馬クリニック四条烏丸<sup>1)</sup>、かげやま医院<sup>2)</sup>、  
京都大学大学院医学研究科器官外科学婦人科学産科学<sup>3)</sup>、大阪市立十三市民病院<sup>4)</sup>

志馬 千佳<sup>1)3)</sup>、蔭山 充<sup>2)3)</sup>、志馬 裕明<sup>1)</sup>  
森下 真成<sup>4)</sup>、小西 郁生<sup>3)</sup>

B-21 . 簡便な問診表で冷え症の病態を把握する試み

足立病院  
針田 伸子、畑山 博

B-22 . 片頭痛患者における「冷え症」の合併頻度の性差に関する検討 ~ 第 2 報 ~

牧田産婦人科医院<sup>1)</sup>、甲南病院神経内科<sup>2)</sup>、千船病院産婦人科<sup>3)</sup>  
中村記念病院神経内科<sup>4)</sup>、立岡神経内科<sup>5)</sup>

牧田 和也<sup>1)</sup>、北村 重和<sup>2)</sup>、稲垣 美恵子<sup>3)</sup>  
仁平 敦子<sup>4)</sup>、立岡 良久<sup>5)</sup>

B-23 . 産婦人科における不眠症と漢方治療の有効性について

共立習志野台病院 産婦人科  
木下 哲郎

B-24 . 外傷性神経障害性疼痛に対して漢方療法で改善した 2 症例

独立行政法人国立病院機構東京病院 麻酔科<sup>1)</sup>、松田母子クリニック 麻酔科<sup>2)</sup>  
練馬総合病院 漢方医学センター<sup>3)</sup>、小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター<sup>4)</sup>

福田 功<sup>1)2)</sup>、中田 英之<sup>3)</sup>、小菅 孝明<sup>4)</sup>

優秀演題賞 表彰式

15:30 ~ 15:40

座長：東京医科歯科大学 教授 久保田 俊郎

閉会の辞 富山大学 教授 齋藤 滋

15:40 ~ 15:45



# ベルサール飯田橋駅前



〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル 1・2F

近隣のベルサール飯田橋ファーストとお間違えない様お気をつけください。

交通：

「飯田橋駅」A2 出口徒歩 2 分（東西線・有楽町線・南北線・大江戸線）

「飯田橋駅」東口徒歩 3 分（JR 線）

東京駅から電車 15 分（あるいはタクシー 20 ~ 30 分）

羽田空港から電車 60 分（あるいはタクシー 30 ~ 60 分）

駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

**連絡先：**

第 35 回産婦人科漢方研究会学術集会運営事務局

株式会社ツムラ 学術企画課

TEL:03-6361-7187 FAX:03-5574-6668

\*9/11(金)17:00~9/13(日)16:00 は以下にご連絡下さい。

TEL:03-5418-7773